

## 冬休み開館スケジュール

 → 休館

12月		
24	土	
25	日	
26	月	9:30~16:00
27	火	9:30~16:00
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	
1月		
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	9:30~16:00
5	木	9:30~16:00
6	金	9:30~16:00
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	始業式

冬休みの本  
貸出スタートしてます！！

貸出冊数 10冊

返却日 1月10日(火)始業式

## 編集後記



ある日、  
「スマホに飽きた」と言って図書館にやってきた生徒。  
その日から毎日のように図書館に来て  
中学生の頃読んでおもしろかった本を教えてくれたり  
その本を再読したりしていました。

「スマホデトックス」にたまの読書。  
みなさんいかがですか？

2023年もみなさんの来館を楽しみにしています♪

島根県立矢上高校図書館

邑智郡邑南町矢上 3921

TEL:(0855)95-1105

FAX:(0855)95-1995

HP:<https://www.yakami.ed.jp/>

 ゆりのき

YAKAMI HIGH SCHOOL

LIBRARY NEWS

2022/12/22



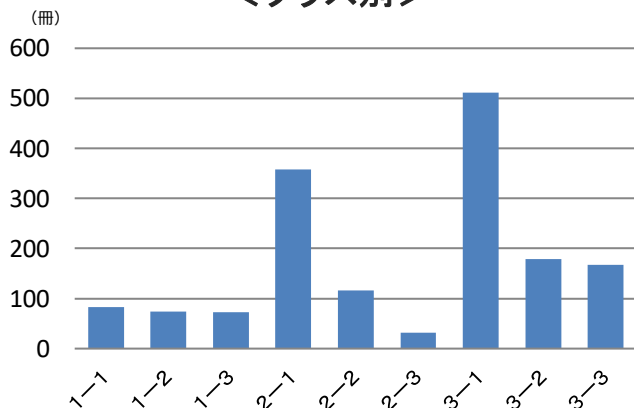
# ☆今年度貸出状況☆

(2022.12.9 現在)

生徒1人あたりの貸出冊数：6.2冊

1日あたりの来館者数：20人

## <クラス別>



3年生は、進路のことなどで図書館をよく利用してくれました。2年生は、自分が読んだ本を友だち同士おすすめし合っている姿が印象的でした。1年生も少しずつ図書館に来てくれて、本のことや学校のことなど色々お話できてうれしかったです。

先日は図書委員会のアンケートにお答えいただきありがとうございました。みなさんの声を参考に本を購入したいと思いますので、楽しみに。

# 「全国高等学校ビブリオバトル 2022 島根県大会」

12月10日(土)に大田市のおすてらすで行われた大会に2年2組森田春風さんがバトラーとして出場しました

## 【 県大会エントリー本 】

★がついている本は図書館にあります

NO	タイトル	著者
1	汝、星のごとく	凧良 ゆう
2	残像に口紅を	筒井 康隆
3★	本屋さんのダイアナ	柚木 麻子
4	13歳からのアート思考	末永 幸歩
5★	鹿の王	上橋 菜穂子
6★	二十四の瞳	壺井 栄
7★	純喫茶「一服堂」の四季	東川 篤哉
8	正欲	朝井 リョウ
9	カザアナ	森 絵都
10★	茜さす日に嘘を隠して	真下 みこと

ビブリオバトルとは...「人を通して本を知る、本を通して人を知る」書評合戦です

### ビブリオバトル公式ルール

- ①発表者(バトラー)が読んで面白かった本を持って集まる
- ②順番に1人5分間で本を紹介する
- ③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分間行う
- ④全員の発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

チャンプ本

準チャンプ本

## .....【 参加報告 】.....

みなさん、ビブリオバトルを知っていますか？私は先生から紹介してもらって存在すら知りませんでした。そんな1ミリも知らなかったビブリオバトルにバトラーとして出場しました。最初は、「すぐおもしろそう」だけで出ることを決めました。でも、何を話したら良いのかが分からず、先生にたくさん相談しました。人に自分の好きを伝えるのは案外難しく、先生や友だちにすぐ手伝ってもらいました。ただ「私はこの本が好きです」って言うだけではダメです。なぜ好きなのか、どういう所が好きなのか、より詳しく伝えて、聞いている人に「読みたい!!」と思ってもらわないといけません。

ビブリオバトル当日もすごく緊張して、ちゃんと伝えられるか不安でした。ですが、その不安を超えるくらい楽しく発表することができました。他の高校生の好きな本を知ることができ、読んでみたい本がたくさんできました。そして、他の高校のことを知る良い機会にもなりました。

何度か「ムリかも...」と思いましたが、出て良かったと思っています。このような場に出たから、人前に出るのが得意かと思われたかもしれませんが、私は人前で発表するのがすごく苦手です。とても早口になるし、言いたいことがまとまらなくなります。ですが、先生からのアドバイスを聞いた練習したりすれば、なんとかできます。私はこのビブリオバトルに、本が好きな人はもちろん、人前に出るのが苦手だなんて人にぜひ出てほしいと思います。出たら自分の自信にもつながるし、一人でも多くの人に自分の好きな本について知ってもらうことができます。聞いている人は自分と同じ「本が好きな人」です。少しでも興味が湧いたら、来年ぜひ出てみてください。良い経験ができると思います。(2-2 森田 春風)